

2016 Asian Conference on Clinical Pharmacy に参加して

藤田保健衛生大学病院 薬剤部 平岡 佳子

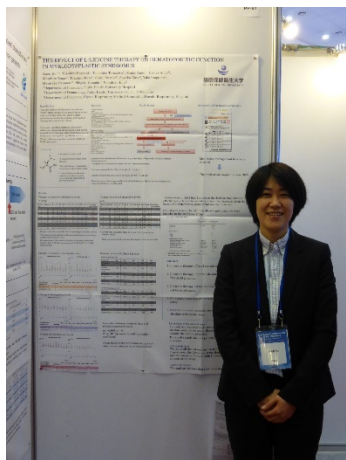
2016 年 7 月 15 日～ 7 月 18 日の 4 日間、韓国のソウル市で Asian Conference on Clinical Pharmacy (ACCP) が開催され、当部伊藤佳織主任と二人で参加させていただきました。

ACCP はアジアにおいて、臨床薬学の実務、教育、研究における新しい知識の共有や、多国籍の薬剤師間の意見交換を目的とした学会です。基礎から臨床まで幅広い分野の討論が行われており、ポスターセッションでは伊藤佳織先生が“The Effect of L-leucine Therapy on Hematopoietic Function in Myelodysplastic Syndromes”というタイトルで、骨髄異形成症候群における L-leucine の網状赤血球絶対数に対する影響と服用の安全性について発表しました。

最終日の 18 日には、Kyung Hee University Hospital at Kangdong と Seoul National University Hospital の二つの病院と、Seoul National University (Yeoncheon Campus) の研究室を見学させていただきました。日本との違いや、韓国特有の韓医学、研究についても知ることができました。

今回の学会では、普段触れることのない分野に触れ、知見を広げる事ができました。また、他国の薬剤師業務についても知ることができ、大変有意義な経験となりました。この経験を今後の研究や業務に活かしていきたいと思います。

最後になりますが、滞在中お世話になった名城大学の亀井教授をはじめ、日本から参加された先生方、このような機会を与えてくださった当部の薬剤師の先生方に、深く感謝申し上げます。



<ポスター発表をする伊藤佳織主任>



<次回開催国のインドネシアの方々と>



<学会会場にて>



<日本から参加された先生方と>



<学会会場風景>